



大肉小だより10月号

令和7年10月1日発行

生活の中に「静」の時間を

9月17日(水)からの2日間、5年生が十種ヶ峰青少年自然の家で宿泊学習を行ないました。快晴の中での活動というわけにはいきませんでした。天候の状況を見ながら、適宜プログラムの変更を行ない、様々な経験をすることができました。特に、丸太やロープを組み合わせて設置されている、地上約10mのハイレlementや低い位置のローElementという施設を使った活動では、一人では乗り越えることができない課題に仲間と協力して挑戦・克服することができ、心に残るとともに自身の成長につながったようです。



私は、1日目の夜のプログラム「キャンドルのつどい」に参加をすることができました。そして、そこでの5年生の姿に、とても感心をしました。「つどい」の始まりの場面、巫女を従え火の神が入場してくる際、明かりを落とすため、しばらくの間、会場は真っ暗になります。また、「つどい」のクライマックスとなる分火(全員が自身のろうそくに火を灯す)の場面、やはり明かりを落とし会場は暗くなります。どちらの場面も、ろうそくのわずかな明かりの下、動きを止め静かに待つことになります。それは、普段、強い光と賑やかな音の中で生活している子ども達にとって簡単なことではなく、不安感からつい話をしたり音を立てたり、中には暗さと静寂に耐えきれず、自分の持っている懐中電灯をつけてしまう子どもも珍しくありません。しかし、5年生の子ども達は、「静かにしてください」という指示も必要とせず、自分たちの判断でこの時間を見事なまでの「静」の時間としていました。

「つどい」の中ほどの場面での、ゲームや各班のスタンツ(出し物)などの賑やかで楽しい「動」と、最初と最後の場面での「静」のコントラストが実に素晴らしく、ここ数年の間に私が見た「キャンドルのつどい」の中でも、最も感動したつどいの一つとなりました。

江戸時代の儒学者に貝原益軒^{かいばらえきけん}(1630-1714)という人がいます。著書に『養生訓』^{ようじょうくん}という心身の健康について説いた生活心得書があります。(私は、ジョージ秋山氏が漫画で表した『養生訓』で知りました。)この『養生訓』の中に、「時に動き、時に静なれば、気めぐりて滞らず」という言葉があります。心身の健康のためには、動く時と静かにする時のバランスが大切であると説いた言葉です。

また、医学者で教育者のモンテッソーリ(1870-1952)は、その著書の中で、人間の生活には「静」の時間が欠けており、子どもの教育においてはそれを確保することが大切であると述べています。

さらに、何かの記事で、「静」の時間はストレスの軽減につながると読んだことがあります。周囲に音や動きが溢れている時には、人はストレスホルモンを分泌し血圧や血糖値が上がりやすくなるそうです。逆に静寂の中で身体がリラックスできている時には、脳もリフレッシュに向かっていくそうです。

私が学級担任をしていた頃、子どもの授業に向かう姿勢が十分にできていないと感じた際には、身の周りの整理整頓をし、30秒ほど目を閉じて一切の動きと私語をやめる時間をとることがありました。気持ちを落ち着かせ、学習に集中するための心の準備をさせることを目的に行なっていたのですが、これを行なうと、その学級の状況が如実に表れていました。学級の状況が悪いときは、「つい声が出る」「何かしら動いて音をたてる」「継続して目を閉じておくことができない」など、たった30秒の「静」をつくることができないのです。そう考えると、本校の「キャンドルのつどい」に生まれた長い「静」の時間は、5年生の子ども達が良い状況で学校生活を送ってくれていることを教えてくれます。

今、テレビやゲーム、YouTubeなどの普及により、貝原益軒やモンテッソーリの時代よりもさらに「静」の時間を確保することが難しくなっています。また、複雑化、多様化する時代を生きる子ども達のより良い成長のためには、意図的に「静」の時間をつくりだすことがこれまで以上に重要であると考えられます。ご家庭でも、毎日30秒～1分で良いので、テレビやゲーム、スマホの画面を消して話をやめ、「静」の時間をもつことを習慣にされてみてください。簡単そうで、実は子どもにとって結構難しいことです。しかし、その習慣が身に付いたとき、「動と静」を上手に切り替えられるようになり、心の安定や集中力の向上にもつながっていくはずです。

校長 西川孝文

第1回学校評価アンケート結果

1学期末に実施しました学校評価アンケートの結果をお知らせします。今回の結果は、8月27日（水）に実施した学校運営協議会でも報告し、委員の皆様にご意見をいただいております。今後の学校運営に生かしてまいります。

%…肯定率「そう思う」「ややそう思う」の割合

	質問項目	児童		保護者	
		R7.7	R6.7	R7.7	R6.7
1	授業は、楽しくて、よくわかる。授業を工夫している。	<u>91%</u>	92%	89%	88%
2	児童は、先生や友達の話をしっかり聞いている。(あたりまえ10箇条)	<u>97%</u>	95%	<u>90%</u>	92%
3	児童は、授業で、自分の考えを進んで伝えている。	84%	87%	<u>63%</u>	65%
4	授業で、「分かるようになった」「自分にもできそう」と感じている。(自己効力感)	<u>91%</u>	92%	82%	82%
5	児童は、毎日、宿題や自主学習に取り組んでいる。	88%	89%	84%	84%
6	児童は、本や新聞を進んで読んでいる。	<u>68%</u>	68%	<u>38%</u>	35%
7	学校は、楽しい。児童は楽しく通っている。	<u>93%</u>	90%	<u>93%</u>	92%
8	児童は、友だちや下の学年の子にやさしくしている。	<u>97%</u>	95%	<u>98%</u>	96%
9	児童は、誰にでも、気持ちのよいあいさつをしている。(あたりまえ10箇条)	82%	81%	73%	73%
10	児童は、学校や社会のきまりを守っている。(あたりまえ10箇条)	<u>98%</u>	96%	<u>97%</u>	93%
11	地域の方に教えてもらうのは楽しい。(地域学習を取り入れている。)	<u>93%</u>	89%	<u>93%</u>	90%
12	学校は便り、メールやHPを通じて、情報発信を積極的に行っている。			<u>90%</u>	90%

…「自分の考えを進んで伝える」「読書習慣」「あいさつ」等が本校の課題として挙げられます。授業中はもちろんのこと、学校生活全般において互いの考えを伝えあう・聞き合う機会を大切に、価値づけていきます。また、読書活動の充実やあいさつ運動の継続等も取組を進めてまいります。引き続き保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

【お知らせ】10月1日から業務内容を一部変更します

9月26日付文書等でお知らせしたとおり、学校の業務改善の一環として、以下のとおり業務内容を変更します。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

①欠席・遅刻届けを「あんしんメール」アプリ・メールでお知らせいただけるようになります

(連絡は朝8時までにご利用します)

※これまでと同様に、連絡帳でお知らせいただいても構いません。

②電話対応時間を変更します

授業日 …7:30～18:00

長期休業中…8:10～16:40

※学校からのお知らせ等を連絡するため、時間外であっても学校からお電話をする場合がございます。何卒ご了承ください。

10月の行事予定

10月

1	水	クラブ
2	木	2年おもちゃランド
3	金	
4	土	土曜参観日(人権教育)給食あり 人権講演会 大内小フェスティバル
5	日	週休日
6	月	振替休日
7	火	3年社会見学(消防署・警察署)
8	水	6年午後カット
9	木	6年修学旅行(広島・宮島)
10	金	6年修学旅行(広島・宮島) おはなしクレヨン 4年車椅子体験
11	土	週休日
12	日	週休日
13	月	スポーツの日
14	火	リサイクルの日
15	水	確認問題56年 4年高齢者体験 大内っ子まもる日・地区別一斉下校
16	木	スクールカウンセラー来校
17	金	
18	土	週休日
19	日	週休日
20	月	
21	火	6年市陸上記録会(みらスタ) 3年妙見社見学
22	水	
23	木	スクールカウンセラー来校
24	金	おはなしクレヨン
25	土	週休日
26	日	週休日
27	月	
28	火	校内音楽会 13:20～
29	水	
30	木	
31	金	おはなしクレヨン 特別支援学級校外学習(ゆめタウン)

11月・12月の主な行事予定

11月

11月	6	木	就学時健診 ※給食なし 下校 11:45
	7	金	5年日産わくわくエコスクール 校内研修(授業研究会) ※下校 1・2年 12:50 3～6年 14:20
	11	火	1年バス遠足(秋吉台)
	13	木	2年バス遠足(宇部)
	26	水	校内持久走大会
12月	19	金	個人懇談
	22	月	個人懇談
	23	火	給食終了 個人懇談
	24	水	終業式

12月